

第5回全日本ロープスキッピング選手権大会競技規則

2010年2月28日(日)

1. 全日本選手権大会とは

全日本ロープスキッピング選手権大会は、日本ロープスキッピング連盟（以下：JRSSF）の主催する国内最大のロープスキッピングの大会とし、国際ロープスキッピング連盟（FISAC-IRSF）の定めるルールを基に、アジア・世界選手権大会への代表選考会などを行うと同時に、幅広いロープスキッピングの発展・普及に努める大会とする。

－附則－

第5回全日本ロープスキッピング選手権大会は、第8回世界ロープスキッピング選手権大会シングルロープ（個人戦）部門の代表選手の選考を行う大会とする。選考は総合成績上位者より順に行うが、選考対象年齢及び参加種目については、別途組織する第8回世界ロープスキッピング選手権大会委員会の定めるものとする。

2. スポーツマンシップ

日々の鍛錬の成果を発揮し、正々堂々と競い合うこと。
礼に始まり、礼に終わり、感謝の気持ちを忘れないこと。

3. ユニフォーム

ユニフォームは身体にフィットしていて動きやすい服を着用し、運動靴を履くこと。
競技を見ている人を不快にさせないように十分に配慮すること。

（競技中に下着が見える、ユニフォームがめくれて肌が見える、過剰な肌の露出など）
医療的な装具など特別な場合を除き、装飾品は身につけないこと。
（帽子、時計、ピアス、ネックレス、指輪、ベルトなどは着用禁止）

4. ロープ

ロープは一般的に市販されているなわとびを使用すること。
ロープ以外の小道具の使用は認めない。

5. 階級・種目

本大会では下記の4階級と3種目で性別を分けずに競技を行う。

階 級		種 目
名称	学年・誕生日	
小学生低学年の部	1～3年生 2000（H12）年4月2日から 2003（H15）年4月1日生まれ	①30秒スピード（かけ足とび） ②3分スピード（かけ足とび） ③フリースタイル ※全階級共通
小学生高学年の部	4～6年生 1997（H9）年4月2日から 2000（H12）年4月1日生まれ	
中高生の部	中学生～高校生 1991（H3）年4月2日から 1997（H9）年4月1日生まれ	
一般の部	1991（H3）年4月1日以前生まれ	

ただし、競技者数が10人に達しなかった階級は、その階級をなくし、競技者は次のように指定の階級に移動して競技を行う。

- ①小学生低学年の部が10人に達しない場合は、小学生高学年の部と合わせて、小学生の部として競技を行う。
- ②小学生高学年の部が10人に達しない場合は、中高生の部と合わせて、小学生高学年・中高生の部として競技を行う。
- ③中高生の部が10人に達しない場合は、一般の部と合わせて、中学生以上の部として競技を行う。(一般の部が10人に達しない場合も同様)

6. 種目概要

①30秒スピード(かけ足とび)

内 容	30秒間でかけ足とびを行う
開始合図	「Judges ready? Skippers ready? Set. Go!」の「Go!」
終了合図	ブザー音
競技エリア	5m×5mの正方形
ジャッジ	<p><計測方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ●30秒間でのかけ足とびの合計跳躍回数をカウントする ●右足が床に接地した瞬間を1回とカウントする <p><不正スタート(フライング)></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「Go!」の合図が聞こえる前に、腕やロープを動かした場合は、合計跳躍回数から5回をマイナスする <p><エリア違反></p> <ul style="list-style-type: none"> ●競技中に競技エリアから足が外に踏み出ている間はカウントしない ●ロープだけが外に出ている場合は違反ではない

②3分スピード(かけ足とび)

内 容	3分間でかけ足とびを行う
開始合図	「Judges ready? Skippers ready? Set. Go!」の「Go!」
終了合図	ブザー音
競技エリア	5m×5mの正方形
ジャッジ	<p><計測方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ●3分間でのかけ足とびの合計跳躍回数をカウントする ●右足が床に接地した瞬間を1回とカウントする <p><不正スタート(フライング)></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「Go!」の合図が聞こえる前に、腕やロープを動かした場合は、合計跳躍回数から5回をマイナスする <p><エリア違反></p> <ul style="list-style-type: none"> ●競技中に競技エリアから足が外に踏み出ている間はカウントしない ●ロープだけが外に出ている場合は違反ではない

③フリースタイル

内 容	30～75秒間で曲に合わせた自由演技を行う（曲なしも可） JRSF 公認規定演技を行っても良い（JRSF ホームページ参照）
曲	曲を使用する場合は、75秒以内に編集してCDで当日持参すること JRSF 公認規定演技曲を使用しても良い（JRSF ホームページ参照）
開始・終了 合 図	<p><曲を使用する場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「Judges ready? Skipper ready? Set. Go!」の後に曲を流し始める ● 曲が始まった時点で演技開始と判断し、時間計測を開始する ● 75秒もしくは、演技終了の合図をした時点で終了とする <p><曲を使用しない場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「Judges ready? Skipper ready? Set. Go!」の「Go!」から時間計測を開始する ● 75秒もしくは、演技終了の合図をした時点で終了とする
競技エリア	12m×12mの正方形
ジャッジ	「技点」「構成点」「減点」をジャッジする

7. フリースタイル詳細

①技点

技の難易度は、技の難しさに応じてレベル1～4に分けられている。フリースタイル演技中に実施されたレベル1～4の技の個数をカウントして、点数表に当てはめて技点を算出する。ただし1度行った技は2回目以降カウントしない。

※トリックシート（技の難易度表）と技点点数表は別紙参照。

②構成点

構成点は、「ミュージック」「ムーブメント」「フォーム」「オーバーオールインプレッション」「スペシャル&スペクタキュラームーブ」「バリエーション」の6項目に分けられている。

フリースタイル演技中に実施された各項目を点数表に当てはめて、構成点を算出する。

※構成点点数表は別紙参照。

項 目	内 容	点 数
ミュージック	技や構成が曲に合っているかを評価	0～2点
ムーブメント	競技エリアをたくさん移動しているかを評価	0～1点
フォーム	技を行う時の姿勢や美しさを評価	0～2点
オーバーオール インプレッション	演技全体の印象を評価	0～1点
スペシャル&スペク タキュラームーブ	特別（面白い・特殊・意外性・見応えのある） な技や動きがあるかを評価	0～1点
バリエーション	演技内容がバラエティに富んでいるかを評価	0～3点
合 計		0～10点

③減点

減点は下記4項目を採点する。

項目	内容
タイムペナルティ	30秒未満で演技を終了した場合、0.5点を減点 75秒を越えても演技を続けていた場合、0.5点を減点
ラインオーバー	身体の一部が競技エリアを越えた場合、 1回につき0.5点を減点（ロープは越えても違反にならない）
マイナーミス	ロープに引っかかったがすぐに演技に戻った場合、 1回につき0.5点を減点
メジャーミス	グリップを落としたり、ロープに引っかかって、演技が著しく 中断した場合、1回につき1点を減点

<フリースタイル得点算出方法>

フリースタイル得点は、技点（10点満点）と構成点（10点満点）と減点を合わせて20点満点とする。

$$\text{技点} + \text{構成点} - \text{減点} = \text{フリースタイル得点}$$

8. 順位決定方法・表彰

①順位

各種目の得点が高い順に順位をつける。

ただし、上位に同順位の者が複数名いた場合、次のように下位の順位をつける。

（例）

順位	名前	得点
1位	A選手	70点
2位	B選手	60点
3位	C選手	55点
3位	D選手	55点
5位	E選手	50点
6位	F選手	45点
6位	G選手	45点
6位	H選手	45点
6位	I選手	45点
10位	J選手	40点

②総合順位

30秒スピードと3分スピードの順位と、フリースタイルの順位を2倍した得点を合計した数が総合得点となる。総合得点が最も低い選手を1位とし、以下順に順位を決定する。

<総合得点算出例>

30秒スピードが2位、3分スピードが1位、フリースタイルが2位の場合

$$2 \text{点} [30 \text{秒スピード}] + 1 \text{点} [3 \text{分スピード}] + (2 \text{点} \times 2) [フリースタイル] = 7 \text{点} [総合得点]$$

<総合得点同点の場合>

競技者 A, B において総合得点が同点であり、フリースタイルの点数が $A > B$ の場合、A が上位となる。フリースタイルも同点で、3分スピードが $A > B$ の場合、A が上位となる。3分スピードも同点で、30秒スピードが $A > B$ の場合、A が上位となる。全種目が同点の場合、同順位となる。

(例)

	30秒 スピード	3分 スピード	フリー スタイル	総合得点	総合順位
A 選手	3位 (3点)	1位 (1点)	2位 (4点)	8点	2位
B 選手	3位 (3点)	2位 (2点)	3位 (6点)	11点	4位
C 選手	2位 (2点)	3位 (3点)	1位 (2点)	7点	1位
D 選手	1位 (1点)	3位 (3点)	2位 (4点)	8点	3位

③表彰

種目別及び総合の1～3位を表彰する。

9. その他

<ロープの破損>

競技中にロープが破損した場合、その競技種目が終了した後に、1度だけやり直すことができる。仮に種目が終了するまでに時間がなければ、最低でも10分間を置いてから競技をやり直すものとする。

<演技中の負傷>

演技中の負傷により演技を中止した場合、その時点までに行われた演技をもとに採点する。

<曲の不備>

フリースタイルの音楽が正しく再生されなかった場合、1度だけやり直すことができる。その際、最低でも10分間を置いてから競技をやり直すものとする。

<靴紐>

競技中に靴紐がほどけた場合、直ちに競技を中断して紐を結び直さなければならない。ほどけている間は競技の計測及び採点対象にはならない。またほどけた場合でもタイム計測は継続し、競技のやり直しも認めない。

<失格>

下記項目に該当すると運営本部がみなした場合、競技の進行状況に関わらず失格とする。

- ①競技運営の著しい妨げとなる行為を行った場合
- ②他の選手の競技を意図的に妨げる行為を行った場合
- ③運営本部からの注意勧告を著しく破った場合
- ④競技結果における口利きや金品授与などによる不正行為が発覚した場合
- ⑤その他、公共秩序を著しく逸脱した行為を行った場合

以上